

社会福祉法人 友愛十字会

ゆうあい

1989

1・31

No. 8

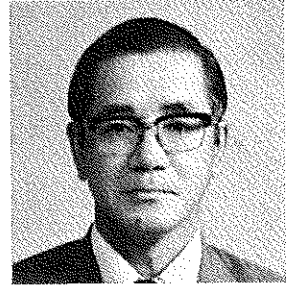
題字 前総裁 三笠宮崇仁親王殿下



世田谷更生館に於ける通信機器科の基板半田付け作業

主な記事

- 平成元年を迎えて 会長 加藤威二
- ヨーロッパの老人福祉事情(1) 友愛荘園長 狩野昭治
- 施設給食 世田谷更生館
- 聴覚障害者の生活寮について考える 東京都ろうあ者更生寮



平成元年を迎えて

社会福祉法人 友愛十字会

会長 加藤 威二

天皇のご在位六十二年、八十七歳というご長寿を記録された第百二十四代昭和天皇には、新年早々の一月七日、皇居の吹上御所において崩御遊ばされました。

昭和時代の終焉は、私ども国民にとって誠に愛惜の念を禁じ得ないものがあります。私ども友愛十字会関係者一同は、昭和天皇の崩御に対し、謹しんで哀悼の意を表するものであります。

昭和天皇の崩御により、皇太子明仁親王殿下が即日第百二十五代天皇に即位され、元号も「平成」と改まり、新しい平成時代の幕が開かれたのであります。

当友愛十字会は、法人設立の昭和二十五年に昭和天皇の御弟宮であらせられる三笠宮崇仁親王殿下を総裁にご推戴申し上げ、昭和四十九年からご長男であらせられる寛仁親王殿下に総裁をお引き受けいただき、今

日まで二代に亘り、実に三十八年余の間総裁として法人の進展にご尽力を賜わっているのであります。従いまして私ども昭和天皇の崩御を、国民としてお悔み申し上げますとともに、皇族としての両殿下のお悲しみをお察し申し上げます。

私は、平成元年を迎え、心を新たにして微力ではありますが社会福祉の向上に一層の努力を尽くす決意であります。そしてこの新しい年を契機として、友愛十字会が年来懸案として参りました世田谷区砦の地にあります施設のうち、老朽化が進んでいる建物を中心に施設整備を本格的に推進し、実現する年にしたいものと心に期しているところであります。

皆様方のご支援を心からお願ひ申し上げます次第でございます。

ヨーロッパの老人福祉事情(一)

友愛荘園長(海外研修団長)

狩野 昭 治

厚生省後援の下に財団法人老人福祉開発センターが実施した「昭和六十三年度・家庭奉仕員海外研修」は、十月十七日から二十九日までの十三日間、スウェーデン及びフランス両国の在宅要介護老人等に対する、ホーム・ヘルプ事業並びに関連する各種施策についての調査研究と研修に参加する機会を得た。

団員は、団長のほか、講師として厚生省社会局庶務課梶浦毅夫課長補佐、事務局員として老人福祉開発センターの本郷順治氏、そして各都道府県・指定都市の老人福祉主管部局から推せんされた市町村及び福祉事務所等に所属する現役中堅ヘルパーの方々十八名のベテラン揃いで、総数二十一名であった。

出発に先立って十月三日、午後、文部省教育会館の二階会議室で行われたオリエンテーションは極めて有効適切で、同開発センターの行き届いた配慮が、渡欧後の研修に大きく役立った。すなわち、研究グループの組織編成などについては、過去の反省点に於いて、四班の編成を行い、また、スウェーデン・ストックホルム及び

フランス・リヨン、パ

リ両市の研修訪問予定
先資料が配布されたほ
か、訪問施設等を類型
化した調査項目のポイ
ントが示されたことな
どであった。このよう

にして、団員の事前研修は、終始熱心に行われ、老人福祉事業に共通する諸問題等について、いち早く多くのヒントを得ることができたことは幸いであった。

さて、ヨーロッパ二カ国での研修は、季節的に「天気がよくない」と予想されていたが、運よく好天に恵まれて、極めて順調に、かつ、可成りの成果を取ることができた。もちろん、これは、研修受入先の行政当局や施設関係者等の懇切なご協力の賜物であったと感謝している。研修先別の詳細については、紙数の関係から割愛するが、ここではスウェーデンを中心に、特に、感銘を受けたことなどを概括的にとりあげてみたい。

一、老人福祉施策等の特徴点

●日本と異なる行政組織

「ゆりかごから墓場まで」これは西欧型福祉の代名詞として、古くから日本人にはなじみの深い言葉である。福祉最先進国といわれるスウェーデンの老人福祉関係事業が、どのように推進さ

れ、展開されているのであろうか、と一度はこの目で確かめてみたいと願っていた。幸いにも今回、ストックホルムを中心に、ホーム・ヘルパー制度と老人福祉事業の実施状況などについて、駆け足ではあったが四日間の研修の機会を得ることができた。

ソルナ・リュン地区(SOLNA KOMMUN、これは地方自治体で、社会福祉行政及び教育行政のほか、市民生活に関わる一切の行政を行っているところ)で、マデレーン・ベック・ステレーン所長からスウェーデンの老人サービス法的主要部分及び老人福祉行政の概要と、ソルナ・コミュニティ地区内の要介護老人等の実態及びホーム・ヘルパー派遣事業の概況などについて説明を受けた。話を聞いているうちに、スウェーデンは、日本の行政組織や機構と、大変な違いがあることに気が付いた。

スウェーデンの人口は八三五万人で、国土の広さは日本の約一・二倍。この広大な国土が二三のランスティング(LANDSTING、日本で言えば都道府県に相当するが、日本のように総合行政を行う機関ではなく、ここでは僅かに医療行政のみ所管している)に分けられ、それを、また、二八八カ所のコミュニティに分けられていた。

ホーム・ヘルパーの派遣事業は、一部を除いて、このコミュニティの所管業務になっていると

のことであった。
ちなみに、スウェーデンの人口八三五万人を

日本の都市人口にあてはめてみると、東京都二十三区の人口八十三万人にほぼ相当する。また、二十三区内の中学校区数は四三二であるから、コミュニティは一・五倍校区程度の人口規模（単純にみると、一コミュニティは二九、〇〇〇人）を管轄していることになる。ところで、このコミュニティには、それぞれ独自の議会があつて、種々の政策決定が行われる。また、このコミュニティごとに社会福祉委員会が設置されていて、社会サービスの責任を負い、高齢者の福祉についても「老人が独立して有意義な社会生活が送れるよう強力な活動をする」となされており、いわゆる地元密着型の地方自治が展開されていた。従つて、県（ランスティング）とコミュニティには、行政組織としての上下関係はなく、対等な立場で所管行政を推進しているとのことである。

●老人福祉施設の類型

スウェーデンでは、総人口に占める六十五歳以上の老人率が一六・九％で、五・九人に一人が老人ということになる。日本の場合は、老人率が一一・二％であるから、八・九人に一人が老人である。このように数字を比較してみても、高齢化の進行は、日本以上に深刻な問題となっている。

スウェーデン及びフランスの老人福祉担当者などは、口を揃えて「施設ケア」はお金が掛るとこぼす。そうしたことから、その主力が在宅対策等、中心のホーム・ヘルプに転換が図られ

たとめるのが、正しいのではなからうか。この方向は、今後にも変わらないと、マデレーン・ベック・ステレーン氏は述べていた。

老人のケア形態を大きく分けてみると、施設ケアと在宅ケアに分類することができるが、施設ケアは日本型の施設体系とは全く異なるものである。

スウェーデンの十年前の資料（一九七八年）によると、老人の施設ケア対策は ①年金受給者アパート ②保護設備のある老人ホテル ③老人ホーム ④ナースィングホームと、四分類されていたものが、今回、一九八八年十月の時点では、その主力が、①の老人アパート（以下「サービス・ハウス SERVICE HOUSE」という。日本の軽費、養護、特養に相当する）に移行され、②③④の内容はあまり聞くことができなかった。

在スウェーデン日本大使館の発行する資料によれば「老人は出来るだけ長く従来の住み慣れた環境で生活させることが必要である。地方行政機関がホーム・ヘルパー制度（家事手伝い、掃除、料理、洗濯、買物など）を組織しているのも、このためである」と記されている。

ストックホルムの中心街にある、セラフェム・ナースィングホームで研修の際、ドクター・エリザベス女史は「この老人病院には、毎日医師が三・七五人（〇・七五人は週三〇時間の勤務医）配置され、老人定数は一四八人である。ベット

は常に満床で待機者は多数いる」と言われた。ナースィングホームと老人病院の区分がぼけてしまい、話を聞く限りではよくわからなかった。日本的感覚でこのナースィングホームを見ると、どうみても日本の老人病院そのもので、この種の施設分類が、私どもには充分な理解ができず、掘り下げ不足を反省しているところである。こうした施設分類のあいまいさは、フランス・リヨン市の社会活動センターのバビイ・マナガール所長の話の中にも出てきたが、フランスでも施設ケア部分については、スウェーデンの施設体系に類似したものが多くみられ、これがいわゆる北欧・西欧の老人福祉施策の方向、もしくは潮流であるように思われた。

●老人の保健医療

スウェーデンの健康保険財源は、国からの補助金、雇用主の拠出金及び各年に自からが事業を行い所得に応じた被保険者（自営業者）への課徴金から成っている。国の負担は一五％で、残りは雇用主と自営業者等のほか、直接医療を受ける者の負担となっている。

医療機関は、一部の例外を除いて総て公立で経営され、しかも日本のような総合病院は皆無とのことであった。つまり、病類別に専門病院化されているのである。従つて、一般開業医はいなくて、病院に勤務する医師や看護婦などは、全員が公務員である。

老人は、誰しも一つや二つの慢性疾患を持つ

ているもので、医療機関とのかかわりは深いものである。老人が病気になる、病院の外來窓口で、保険証を提示し五〇クローネ（一クローネは約二二円、概算一、一〇〇円）を払えばよく、あとは一切不要である。つまり、病院の玄関をくぐる都度、個人負担額は五〇クローネの均一料金制が適用されている。この窓口払いの費用負担額には、診察・診断料のほか、薬、各種の検査（レントゲン撮影を含む）、ラジウム照射、疾病給付受給資格証明書、専門医への紹介、その他必要な治療等が含まれているとのことである。この均一制費用負担は、誠に羨しい限りであるが、一方、うがった見方をすると、

総ての病院が疾病別に専門化され、しかも公営となると独占・寡占になりはしないか。これらの診断治療の迅速適確性、サービス、医学的進歩等の点が少々気掛かりなところであった。

●高福祉は高負担

スウェーデンでは、日本人女性通訳四人（AMAKO NAKAMURA PERSSON, ATUKO KATSUB SANDBERG, MARIKO IWATA, MARIA ARBORGH）にお世話になった。宿泊したホテルや研修先からの移動時などを利用してスウェーデン人の暮らし向きや親子関係あるいは興味のある税金問題などについて聞くこともできた。

ソルナ・コミュニケーション地区のマデレーン・ベック・ステレイン所長からも老人の年金関係につ

いて伺う機会があった。

流石に、高福祉の謳い文句どおり、受給額は、わが国とは比較にならない感があった。コミュニケーション内のホーム・ヘルパー派遣対象の二家族（女性単身世帯）を、大規模団地の中にあるサービス・ハウスに、担当ヘルパーの案内で尋ねた。ヒルダさん（九三歳）とデンマリさん（六九歳）にざり年金受給額を聞いてみたが、こと所得の問題であるだけに、二人とも明言を避けた。ヘルパーの話によると、一カ月およそ三、〇〇〇クローネ（日本円換算約六六、〇〇〇円）前後ではないかとのこと、そうすると、日本の老齢福祉年金との比較では、約二・四倍に相当する計算になる。確かに年金一つをとってみても優遇されていることがわかる。しかし、その背景には驚異的な租税等負担率の高さも見逃すわけには行かないだろう。それに女性の職場進出共稼率が八五％と高いことも、これらの年金に反映していることが考えられる。

スウェーデンの一般的サラリーマンの一月月の収入は、夫婦子供二人の共働き標準世帯の場合、夫が約二五万円妻が約一五万円とのことであった。ところが所得税、厚生年金、健康保険等の法定諸控除の下限率が三〇％から累進する仕組みとなっており、このほかに、物品税等が二四・五六％ということであるから、平均的サラリーマンは黙っていても五五％から六〇％程度の税金を負担しなければならない。日本の税

金等の租税率と比較する時、格段の隔りを感じた。もちろん、そこにはスウェーデンの歴史、社会、経済事情等、様々な背景のもとに、今日的な充実された社会保障制度の枠組が確立されたものと思われる。日本は、これから未曾有の高齢社会を前にして、厚生省では、年金等の給付額と受給年齢等について検討に着手しているようであるが、日本も国民のコンセンサスが得られ、五五％～六〇％の高負担が可能だとして、社会保障、とりわけ社会福祉全般についてスウェーデン並か、それ以上の水準が保障されるような気がした。

（次号に続く）



ストックホルムのナースィングホームで説明を受ける研修団一行（筆者中央）

施設給食

世田谷更生館

食事とは、人が生活していくために必要な「衣・食・住」の一つであり、生きていくための手段であるのに、当り前すぎてつい軽視されがちである。例えば「空腹を満たすだけのもの」「好きなものだけ食べていればいい」と考えている人もいる。

近年、健康ブームの活況により「自分の身体を思い、いろいろな工夫をしながら食べる」という意識が高まっているが、まだまだ個人差が感じられる。

世田谷更生館においては、加齢に伴い身体的精神的機能が少しずつ低下しており、中でも栄養機能の変化は、人によっても違うが、消化・吸収・代謝能力と食生活そのものに影響を及ぼしていく。今まで普通に食べていたものが食べにくくなったたりするのも仕方がないことかも知れない。

しかし、いずれも環境の変化によって、嗜好が変っていくように、食に対する意識改善を行うことにより栄養機能の回復ができ、食事もおいしくなるのではないかと思っている。

ここで、食生活の基

本といえる五項目を紹介する。一、「多様な食品で栄養バランスを」。

二、「日常生活活動に見合ったエネルギーを」。

三、「脂肪は量と質を考えて（動物性より植物性の油を多めに）」。

四、「塩分を取り過ぎないように」。

五、「心のふれあう楽しい食卓を」である。現在行っている集団給食では、すべての人の要求に答えようと努力はしているものの、この五項目ですら限界がある。特に二、四、五は、一人ひとりが自ら調整してもらわなければならないことでもある。

献立は和洋折衷が多く、バラエティーさを盛り込んではみても、やはり現実的には無難な取り合わせになってしまふ。栄養バランスを考えての結果だが、無理矢理あれもこれもという食べ方は好ましくないと思えるからである。もちろん食べ易さについて注意はしているが、嗜好を重視した給食を出してもおいしく思うかどうかは個人の食味感覚によるところが大きい。障害からくる部分の無味感覚もあるが、さらにこれまでの生活環境による食生活感が加わる。とはいえどんな食事であっても体調が悪ければ味覚は落ち、逆の場合にはどんなものであってもおいしく感じられるものである。食事とは、

規則正しい生活リズムのほんの一部である。バランスの取れた内容であれば、休養と運動を適度に行うことが食欲を増すよい方法である。

あれもこれもと色々悩むより、体の調子を整えるために欠かせない野菜や果物、より良い体を作る肉・魚・卵・乳製品や大豆製品、エネルギーとなる穀類・芋類や油脂類を年齢に合わせて取るにより、健康的な生活を送ることができる、と信じている。

（栄養士 関谷 勉）



聴覚障害者の

生活寮について考える！

東京都ろうあ者更生寮

更生寮の朝。八時を過ぎると寮生のほとんどが出勤してしまう。

この時間、寮生や修了生の勤務する会社から電話が入ることが多い。「〇〇工業です。まだ来ていませんよ。様子を見に行ってくださいませんか」修了生のAさんの職場からだ。宿直の職員は、調理の人や警備員さんにあとをたのんでAさんのアパートにかけつける。昨夜、遅くまで飲んでしまったといつてまだ眠っている。急いで仕度させ、出勤させる。

Aさん（男性）四十歳は十数年前に更生寮を修了し、寮の近くでアパートを借り、製本会社に勤めている。仕事は一生懸命するが、無断欠勤、遅刻もある。会社側の理解と寮の援助もあり、現在まで同じ会社で頑張っている。独身の気楽さということもあり、給料をもらうと飲み代、パチンコ代で半月もすると懐がカラっぽになる。本人はしごく呑気に見えるが、肝臓を悪くし入院したこともあり、寮の職員が口やかましく言うことで、生活のベースが保たれていると言えなくもない。時々、会社で作った本だと言って、刷り上がったばかりの、インクのおいの残っている本や雑誌を持って来てくれる彼と寮の関係は十数年続いている。

寮には、職場でのトラブルや悩み、生活上の相談、夫婦の問題等で修了生が毎日何人かは訪ねて来ている。多い時には十人以上になる時もある。また、近

所の人や、アパートの管理人、不動産屋など地域の人々から持ちこまれる修了生との様々な問題も多い。

聴覚障害者の「自立更生」施設としての「ろうあ者更生寮」は、一年一二年の訓練期間、生活訓練と就労定着、コミュニケーション方法の獲得を目標にしているが、その後援助を受けず、一人で生活を送ることが出来る人は少ないのが実情である。

この十数年の傾向として聴覚障害だけでなく、いくつかの障害が重複する人達も増えている。それは、聞こえないということへの周囲の無理解や偏見、情報不足及び本人の誤解等から引き起こされる人間関係のトラブルが原因で心の病気を持った人や、知恵遅れや、自閉的な人などである。

しかし、私たちが「精神の障害」と決めてしまいう前に、適切な援助と地域の人々との橋渡しさえすれば社会で十分やっていける人達なのである。

精神的な障害としては問題にならないとはいえ、聞こえないことからの二次的な障害を持った人たちもいる。

聞こえても、聞こえなくても幼少年期に、親の保護から徐々に周囲の社会にかかわり、学校生活等を経て就労するのがごく一般的なコースといえる。しかし、そうしたコースを通らなかった人の苦労は大いだと思う。聞こえないということで親や家族が必要以上の保護をし、あるいは放任し、就学することなく、ほとんど家の中で生活を送って来て、親の高齢化と兄弟の結婚などで、更生寮に来た人たちがいる。この人たちは、聞こえないにせよ、聞こえるにせよ、

多くの人達が十数年から二十年かけて通って来た生活の自立と就労を、聞こえないというハンディキャップを持ったまま、インスタントにやってのけなければならないのである。

アフターケアの形の更生寮の援助が必要になる。現在、寮の近くで生活している人は約六十名。相談に来たり、職員が訪ねていくのは、これらの人達が大半である。

しかし、更生寮が生まれて二十四年。寮が歴史を重ねていき、伝統ある施設になっていくにつれ、ケアの必要な人達も同時に増え、寮の職員だけではもはや限界に近くなってきたっており、在寮生の指導をしなからる修了生のアフターケアは、後手後手の対応にならざるを得ない。

知恵遅れの人達には、通勤寮という訓練施設を出たあと「生活寮」という制度がある。知恵遅れの人達は長期間の援助が必要だ、という一般的に認識されているための様である。

聴覚障害者の場合、もち論一人でやっていける人は少なくないが、聞こえないことからの二次的障害として、社会的経験の不足や、人間関係でのストレスも多い。病院や職探し等、不安な状態で毎日を過ごしていることは、ごく簡単なことでも寮に相談に来ることから想像できる。

前述のAさんも、長く居る職場とはいえ、聞こえる人達の中にただ一人で働いている。ストレスも多く、酒の量も増えるのではないだろうか。

地域の中で数人の聴覚障害者と、身近に相談のり、食事、健康管理などの援助をする人がいる、そんな「生活寮」があれば、もっと安心した生活が送れると思われる。

（指導員 菊地文江）

手話講習会

毎週水曜日、東京都ろうあ者更生寮では、地域のお母さんも参加して楽しく講習会を開いています。



▶ ほうらみんなやれば、
はずかしくないね！

▲ 講師清水先生
「とにかく使ってみる」こと
です」

◀ あらこうかしら手が思うように
動かないわ！





投稿

手も言葉

世田谷更生館 手話講師

白川富子

東京都に住む身体障害者には、都営交通に対して無料パスが支給されているのはよくご存じと思う。しかし、世田谷区に住む私達にとって、都営パスを利用する機会は限られてしまう。私は文京区生まれなので、友人との交流のために月に一、二回は行く。最近は新宿線もでき、バスと併用して使えるので、この時ばかりは都営パスを有難く思う。

電話がかかってくる。「あ、今日はいますね。」といわれる位留守が多い私に、「一人暮らしは、自由で気楽でいいわね。」と本当は幸福である筈の奥様方から言われると、「ええ、出かけられる健康を与えられている内が幸福だと思っています。」と返事はするけれど、(冗談じゃない。家に居て一口もしゃべらない生活が続いたら頭がどうにかなりそう。淋しいから何かを求めて出かけて行って、誰かに会い、話をすれば楽しいから出かけるのに、本当のことは何も分っちゃいない。)と返事とは裏腹に心の中でいつも憤っている私はへそ曲がりなのかな・・・。

さて、私が世田谷更生館の手話の勉強会に通うようになって、早いもので十年近くになる。

私は若い時、自分の生活のために夢中で働いた。身体的にも限界を感じることがあつてふり返って見ることは、学びながらお互いに障害者のために私にできることは何だろうか。義足でしかもか弱い(?)女性であれば、車椅子の人を平らな道ならともかく、坂道、階段、またお手洗いの介助をするとなるともうお手上げである。

手話なら覚えられるのではないか。丁度聞かじった情報で初めて東京都福祉局に行ったのは、昭和四十九年二月のこと。もう中年というよりは老年に近くなつてからの勉強だから、幾度か壁を感じながら、若い人には追い越されながらも、よい先生や先輩に恵まれて、手話がまだまだ未熟な時から先生の代理をしたり、福祉事務所に推薦されたりして、遠慮しいしい今日まで生きてしまった。

世田谷更生館で知り合った沢山の人達。自立にチャレンジした人、重度ゆえに早くから老人ホームに移って行った人、「老人ホームに行くんだ。」と本当に悲しそうに握手を求めて行った人、それぞれに面影は忘れられない。

今後大きなことはできないけれど、世田谷更生館や地域で、私にできることはやって行きたい。手話は言葉であり、手話の勉強は手の訓練だとも思つてやっていただきたい。みんなの楽しい交流の場としても。

友愛荘に入所して

小島千霞子 (86歳)

私が友愛荘に来たのは、昭和五十一年ですから、もう十二年になります。月日の立つのは早いものです。私は山梨県の猿橋に生まれました。父親は眼科医でした。会社員だった主人と結婚し、目黒に住んでいましたが、昭和五十一年に主人が亡くなつて、身体が弱かった私は、老人ホームで暮らそうと考え、すぐに区役所に申し込みをしました。しかし、「今は満員だから暫く待つて下さい」と言われ、心細かったのですが、待つことにしました。間もなく、「町田の友愛荘にどうですか」と言われてここに来ました。

私達の時代には老人ホームが今のようには理解されていませんでしたので、何か重い気持ちで夢中で参りました。友愛荘に来てみると玄関が明るくて、気持ちが良く私のイメージは変わりました。部屋に通されると部屋も明るく、ホームの回りも緑が多く安心しました。それと同時に欲が出てきて、入所する時に処分してきた本や衣類など、あれもこれも持つてくれば良かったと後悔したものです。

ホームには色んな人達がいて、皆な経験や体験談を聞いていると、色々勉強になりました。クラブ活動は民謡クラブに入っています。若かつ

た項は民謡なんて縁がないものと思っていまして、民謡クラブの大塚先生の張りのあるお声を聞いて、日本的でいいものだと思いが好きになりました。目黒に住んでいた頃、子供に恵れなかった私はジョンと名付けたスピッツを飼っていました。動物を飼ってみると親子の情愛がわかるものです。私にとって子供のようだったジョンの位牌は主人の位牌と共にベッドの枕元に安置してあり、毎日手を合せています。

最近では、ホーム内の設備も良くなりました。毎日を考える様によつては、今が一番幸せだと考えています。もし自宅で一人の生活をしていたら色々心配しながら暮らしていたかも知れません。今はこれ以上身体が弱くならないように心がけ、毎日を楽しく生きようと思っています。

母がお世話になつて

友愛荘

福島弘子

母がこちらにお世話になりました、大分長いことになります。若い頃から大変気難しく、我儘な母でございましたので、環境の急変とともに、団体生活にも馴染んで、落着いて過ごせるかなどと、入所当時は本当に不安で、いつもいつも母のことが頭から離れず、心も落ち着かなかつたものでした。しかし、職員の方々の親身

な温かいお世話のお蔭で、現在は考えられない程の穏やかなやさしい母になりました。

もともと足が弱く、それでも動けます時は春の彼岸、また、盆には外泊も出来まして、私共の所と娘の所に一泊づつされることや、また好きな買物なども一緒に出来ました。大腸骨の複雑骨折で入院。二度の手術と輸血で治るまでには二ヶ月程かかりました。母も高令でございましたので、私達も代わる代わる通つたものでした。退院後は全くの寝たきりになり、又々引続きお世話になり本当に申し訳なく存じております。

近頃では、母を見舞うたびに有難う／＼と、それは仏様のような母になり、私達の心も落ち着き、遠い昔のことなどは忘れて、現在は母との穏やかなお付き合いが出来ようになりました。これも皆何から何まで、親身に及ばぬ皆様のお世話のお蔭と感謝の心で一杯でございます。どうぞ、今後ともよろしくお願い申し上げます。

(福島ハナさんの長男の嫁)

友愛十字会主要行事

63・4・1～63・9・30

- 63・4・6 地域交流花見会(友愛荘)
- 〃 17 ソフトボール大会(ろうあ更生寮)
- 5・6 端午の節句(友愛荘)
- 〃 11 レクリエーション(友愛ホーム)

- 5・15 寮對抗競技大会(ろうあ更生寮)
- 〃 18 地域交流ゲートボール大会(友愛荘)

- 5・20～21 課外訓練旅行、愛知太陽の家(更生館、友愛園)

- 〃 27 昭和六十三年度第一回役員会
- 6・1 東京都身体障害者体育大会(更生館、友愛園、ろうあ更生寮)

- 〃 8 野外給食(友愛ホーム)

- 〃 22 映画会(友愛荘)

- 〃 24 園長と入所者との懇談会(友愛荘)

- 〃 24 栄養指導映画(友愛ホーム)

- 7・4 七夕祭り(友愛荘)

- 〃 7 七夕(友愛ホーム)

- 〃 13 盆法要(友愛ホーム)

- 7・26～29 納涼盆踊り大会(世田谷三施設)

- 8・6～7 盆踊大会(ろうあ更生寮)

- 〃 24 地域交流納涼盆踊りの集い(友愛荘)

- 9・11～12 野外訓練、伊豆(ろうあ更生寮)

- 〃 15 敬老の日(友愛ホーム)

- 〃 18 敬老祝賀の集い(友愛荘)

- 〃 23 板橋区身障者スポーツ大会(ろうあ更生寮)

- 〃 25 町田市身障者スポーツ大会(友愛荘)

- 〃 25 愛のステージ、明治神宮会館(更生館、友愛園)

- 〃 25 入所者家族の集い(ろうあ更生寮)

俳句

友愛ホーム俳句会より

講師 松本千鶴子選

麦踏みの人影長く土の香す
野仏にかぶさる影や夏木立

チヨ

梅雨地獄地蔵様まで雨祈る

秀三郎

老の身やもてなしむなし氷水

日覚めれば昼寝に小供より添ひて
湯上りのぬむりさそふや花曇り

琴女

梅雨深し墨と硯を友として

壮之介

地下街は迷路のごとし氷菓喰む

多賀子

ひとひらの藤の花びら友の髪

千代

藤の花垂れて魚寄る水輪かな

ふるさとはなべて静かや竹の春
いわた

善意のかずかず

昭和六十三年上半期中に、次の方々から善意の金品のご寄贈を頂き、また、利用者をご慰問下さいました。ここに心から御礼を申し上げます。

(寄付金)

63・4・11 63・9・30

敬称略 あいうえお順

○世田谷関係

新井電気、石井とくなり、石井アサ子、今井勇、石神俊恵、井山建設、魚久、荏原流、太鼓ひびき会、小野坂豆腐店、オークラスター、越智通雄、小方つね、大西洋子、おしやれ床やボヌール、大蔵住宅自治会、小国のぶ子、大蔵湯、大蔵東部町会、大蔵自動車商会代表取締役長島英行、小沢満寿子、落合孝子、大蔵東部町会安藤賢一、亀山登、加藤かつる、金子秀雄、貝塚富江、川辺甲、鹿島栄一、砧教会教会学校、砧町自治会、砧商事奈良友雄、砧町会々々長竹内淳夫、小料理そうべい、小坂徳三郎、小池英一、小林トミ子、古藤重次郎、ささや佐々木隆雄、進藤毅、清水英雄、鈴木ギター教室、世田谷通り砧商店街振

興組合、理事長河島春蔵、世田谷区身体障害者福祉協会砧支部、聖文堂、世田谷通り砧商店街振興組合、祖師谷南商店街振興組合、タケミ設備、谷理髪店、畑中第二、太丸屋衣料代表小室昇太、高田照子、手島よしの、東京フェリス、同栄信用金庫世田谷支店、長崎愛子、長島光重、内藤千紗子、内藤寿昭、日本女子大学、日本福祉教育専門学校、沼尻善四郎、浜中米店、樋口カズ子、ひたちや精肉店、普濟寺、藤蔭静照、双葉セントラル企業、星野商店、松下商店、松本商店、前川栄子、丸山工務店、森政子、八百周、山下英子、焼肉の竹園、柳屋商店、横山青果店、リビングタカハシ、理容スタート

○東京都ろうあ者更生寮

加藤弘、竹川幸、但木瀧雄、根岸一雄、山上源次郎

○友愛荘

石井商事不動産部、湊間洋子、内田利通、河合源策、草薙三蔵、佐藤忠信、佐藤秀男、しらゆり美容室、鈴木庸公、図書館、図師寿会、ゲートボール部、菅野昭正、清楽会、高見台健康友の会、多田広高、竹一、多摩丘陵病院、徳山宮子、常盤長寿会、橋本好明、秀美会、町田警察署忠生駐在所、矢部町八幡俱樂部、吉川百貨店

(寄付物品)

○世田谷関係

伊東観光協会、株式会社伊藤園、キリンビール、小林トミ子、関塚商店、東京都食肉環境衛生同業組合、理事長竹中久一、東京地方一般同盟、東京時計宝石眼鏡小売協同組合、東京善意銀行、東京グリーンサービス事業協同組合、東京中央食品、同業信用金庫世田谷支店、日本たばこ産業株式会社、原川電気設備株式会社、株式会社マザース、友和会、読売新聞砧販売所、若葉会

○東京都ろうあ者更生寮

株式会社新潮社、佐野文明、清水善次郎、竹川幸、原嶋武一、深瀬静雄、フア

インコスメティックス株式会社、株式会社
社マザース

○友愛荘

柴田榮子、島田良男、キリンビール(株)、
東京都食肉環境衛生同業組合、日本た
ばこ産業、ふるさと渋谷少年社会参加
推進委員会

(慰問)

○友愛ホーム

宮島春三、平岡会、青山学院落語研究
会、目黒星美学園小学部、若葉会、ガ
ルスカウト東京九十一団、成城消防署
少年団

○友愛荘

桜美林幼稚園、小山田桜台保育園、高
友会、図師寿会、高見台健康友の会、忠
生駐在所、多々良武雄、ニコニコシル
バー会、日向太鼓、ふるさと渋谷少年
社会参加推進委員会、町田聖書キリス
ト教会、みのり幼稚園、弥生会

(招待)

○友愛ホーム

東京赤坂組合、友愛十字会後援会、日

本チャリティ協会、世田谷区役所、東
京原宿ライオンズクラブ、国会春秋会

職員異動

63・4・1～63・9・30

世田谷更生館

退職 指導部長 梅原秀雄 63・9・30

友愛園

採用 調理員 奥田由美子 63・4・1

〃 〃 成田好孝 63・6・1

〃 〃 堀井正 63・7・1

退職 指導部長 東田正義 63・9・30

東京都ろうあ者更生寮

採用 調理員 池浦仁志 63・9・1

退職 〃 本山とよ 63・8・20

友愛ホーム

採用 庶務部長 鈴木倫正 63・4・1

〃 指導部長 浅野操 63・4・23

退職 指導員 亀山登 63・4・22

友愛荘

採用 寮母 高橋好美 63・4・1

〃 看護婦 徳山聖子 〃

〃 〃 根崎幸子 〃

訃報

本会評議員 岩原寅猪氏は、
ご病氣療養中のところ肺炎の
ため昭和六十三年三月十四日
逝去されました。

同評議員 畔上輝井女史は、
急性心不全のため平成元年一
月十九日逝去されました。

謹んでご冥福をお祈り申し
上げます。

編集後記

○「ゆうあい」を発行するたびに
次号は予定期日どりに編集発行
しようと思うのですが、またまた
本号も大分遅れてしまいました。

友愛荘狩野園長から寄稿された
「ヨーロッパの老人福祉事情」は、
紙面の都合で次号と分けて掲載し
ます。

○ 毎年多くの日本人が気軽に海
外旅行をしたり、また、日本を訪
れる外国人も年々増加して、国際
交流はますます活発になっていま
すが、国民の外国に対する関心度

はどうでしょうか？

○ 総理府の世論調査によりまず
と「日本と外国との関係や外国の
出来事」に関心ありと答えた人は、
調査対象の五三・五％という結果
がでています。

○ 性別では、男性が六四・九％、
女性が、四三・一％と男性の方が外
国への関心が強く、年齢別では、関
心があると答えた人は、40代、50
代、30代が比較的高い数字を示し、
20代、70代では逆に関心のない人
が多くなっています。

○ 関心のある地域は、最も多い
のが「北アメリカ」、次いで「アジ
ア」「アフリカ」「ソ連・東ヨーロッ
パの」順になっています。

みなさんの関心度はどうですか。

ゆうあい

八号

平成元年一月一日 発行

発行 社会福祉法人友愛十字会

発行人 草原国司

〒157 東京都世田谷区砧

三丁目九番十一号
電話 (〇三) 四一六一三二六一